

昭和村統合小中学校推進協議会

ともに学び、ともに育つ学び舎づくり

▶ 問合せ 教育委員会学校教育係 ☎ 24-5120



子どもたちが主役となり、ともに学び、ともに育つ統合小中学校の実現を推進する新しい組織として「昭和村統合小中学校推進協議会」が令和7年5月7日に発足しました。

今後、村の子どもたちにとって最も適した学びのかたちや、これからの時代に求められる校舎のかたちについて、話し合いや調査などを通じて基本計画案として取りまとめ、教育委員会を通して村長へ提言します。

第1回推進協議会で協議・確認されたこと

～話し合いのスタート地点～

昭和村統合小中学校推進協議会は、昭和村小学校の統合に向けた検討委員会によって答申された『小学校3校を統合して1校とし、新しい場所に中学校と一体となった校舎を建設し、郷土愛を育む小中一貫校を作る』（令和5年3月）をスタート地点として、議論をしていきます。

今後話し合っていく主な内容

Step1 学びのかたち(教育のソフト面)

- ▶ 変化の激しい時代に求められる「生きる力」を育む新しい学びの内容
- ▶ 小・中切れ目のない新しい教育を実践するために適した学校の仕組み
- ▶ 子どもたちにとって最も適した学びの進め方

Step2 校舎のかたち(教育のハード面)

- ▶ 新たな時代に則した校舎のあり方
- ▶ 子どもたちに最も適した学びが実現できる校舎のコンセプトとかたち
- ▶ これからの学校に必要な不可欠な設備や機能の調査(視察)と検討
- ▶ 具体的な学校のかたちといくつかの候補地をまとめ、統合小中学校の基本計画案を作成
- ▶ 基本計画案を教育委員会を通して村長へ提言

話し合いの進め方

協議内容は、その都度、議会へ報告します。また広報紙などを通じて皆さんへお知らせしていきます。

Step1 教育のソフト面の協議

中間取りまとめ

住民説明会等の開催

修正・再協議

村長・議会への中間報告

Step2 教育のハード面の協議

計画素案を作成

住民説明会等の開催

修正・再協議

計画案を決定

教委を通して村長へ提言

推進協議会委員(敬称略)

●小野 和好(教育長)

○河野 太一(東小・学協委)※

石井 萌(東小・保護者)

林 洋平(東小・保護者)

諸田 智則(南小・保護者)

綿貫 嘉晃(南小・保護者)

兵藤 武志(南小・元学協委)※

石井 真也(大河原小・保護者)

小野 裕子(大河原小・保護者)

竹吉 哲也(大河原小・学協委)※

松井 太郎(昭和中・保護者)

星野 嘉恵(昭和中・保護者)

石井 浩明(昭和中・学協委)※

関上 信也(子育保・保護者)

山後 正志(第一保・保護者)

栗原 孝明(第二保・保護者)

加藤 正一(東小学校長)

吉野満由美(南小学校長)

小林 直也(大河原小学校長)

根岸 敦子(昭和中学校長)

青木美穂子(教育長職務代理)

須藤 俊哉(教育委員)

長谷川 誠(教育委員)

石井 美穂(教育委員)

氏名(所属)、●会長、○副会長、※学協委=学校運営協議会委員

当事者となる保育園児・小中学生の保護者の意見を取り入れられるように、各小中学校からそれぞれ保護者2名と学校運営協議会委員等地域の有識者1名、各保育園からそれぞれ保護者1名の参加を募ったほか、教育の分野についてさらに踏み込んだ話し合いを行うため、小中学校校長4名、教育長、教育委員4名の24名の委員で発足しました。